

熊本県立荒尾支援学校進路便り

わーく&らいふ

令和5年度第2号(通巻76号) 6月2日発行

今年度の進路指導重点的テーマは 「思いや取組の共有と継承」

先日久しぶりに対面でのPTA総会・研修会・食事会が催されました。グループトークではこの日を待ちに待っていた保護者の皆様の弾む会話を嬉しく見せていただきました。特別支援学校の「良さ」のひとつは、様々な年齢段階にある子どもたちが身近にいることだと考えます。そのような環境だからこそ、保護者も、上学年・上学部の児童生徒の学習や先輩保護者の話を参考に、我が子の将来(進路)を想像することができるのではないかと思います。

しかし、4年間に及ぶコロナ禍は、とくに保護者同士の(縦横の)つながりを分断してしまった感があります。今年のPTA活動テーマは「つなぐ」。進路指導においても「思いや取組の共有と継承」を重点テーマとして取り組むことで、主な取組について紹介します。



■全保護者へ「進路の手引き」をお届けしました。

先日の保護者研修会の際、ご家族から「進路の手引き」を読んだ上でのご発言がありました。早速お読み頂き、我が子のこれからを考えるヒントを得ようとしていることがわかり嬉しく思います。皆様方には「進路の手引き」はご覧いただけただでしょうか。

熊本市手をつなぐ育成会(知的障がい児・者親の会)が、特別支援学校保護者向けに実施したアンケートによりますと、保護者の皆様が「困ったり悩んだりしていること」の第1位は「学校卒業後の進路(62%)」でした。また保護者の9割は「子供の将来への不安がある。」と答えています。実際には、高等部を卒業する際には、全員希望に添った(希望に近い)進路が決定し、卒業と同時に新生活がスタートしていくのですが、日々の子育て(今の生活)に精一杯取り組まれている保護者の皆様にとって、将来やってくる「学校生活の終了」「子どもが何らかの形で社会参加すること」「得意なことを活かして働くこと」をイメージするのは簡単ではなく、漠然とした「不安」につながるものと想像します。

そこで「進路の手引き」では、特別支援学校高等部卒業後の進路、年齢や各学習グループごとの進路指導(キャリア教育)の概要、進路決定に向けたプロセス、福祉制度のあらましなどで紙面を構成しました。詳細な情報にしようとするれば膨大な紙面が必要です。今回の本校版では、保護者の皆様が関心をもち手に

進 卒
路 業



取りやすいよう、できるだけコンパクトに(20ページ程度を目標に)作成しました。また、3年に一度程度の更新をして参りますので、それまでは大切に保管をお願いします。

お配りしたのはモノクロ印刷ですが、本校ホームページではカラー版をご覧になることが出来ます。スマートフォンやタブレット等で右のQRコードを読み取りアクセスしてみてください。

また、挿絵として本校児童生徒の美術作品が見事に花を添えています。こちらもどうぞご覧ください。



■進路便りで取り扱う話題の多様化を図ります。

進路につながる学びは、高校生から始めるものではありません。お子様が小さいうちから、年齢や育ちの段階に応じて、進路につながる力を育むキャリア教育の積み重ねが望まれます。

本校では「かかわる」「決める」「はたらく」の視点で各学習グループ毎にキャリア教育に取り組んでおります。早速6月には高等部一般学級で「校内実習」「現場実習」が、重複障がい学級で「施設見学」「施設体験」が予定されています。

本年度はすべての学習グループのキャリアに関する取組を順次紹介していく予定です。

■「ARA・SHIしんろ目安箱」を設置しました。

「進路の手引き」をお読みになって、あるいは日頃から感じておられる「進路」に関する疑問・質問をお寄せいただく「ARA・SHIしんろ目安箱」を設置しました。右のQRコードを読み取って、スマートフォンやタブレットからお入りください。お寄せいただいた内容は進路便りの編集の参考とさせていただきますほか、質問者へ直接情報提供させていただきます予定です。



【これからの進路関連行事】

- 【重複障がい学級】 6月末 施設見学(中学部) 6月下旬施設体験(高等部)
- 【一般学級】 6月前半 現場実習(高3)・校内実習(高1)
- 6月後半 現場実習(高2)
- 6月下旬 施設見学(中3)
- 6月末 現場実習・校内実習報告会(高3・高1)
- 7月初旬 現場実習報告会(高1)

編集後記

高等部一般学級では、6月初頭からのべ34カ所に分かれて「現場実習」を実施します。障がい者支援事業所だけでなく、身近な場所「マルエイ」「コスモス」「グリーンコープ」「ABCマート」等の店舗実習をする生徒もいます。見かけたら励ましの言葉をお願いします。(谷口)

